

## 知事コメント

- 令和5年の本県における人口の自然増減数は△8,058人と、過去最大の減少となった令和4年の△7,751人から△307人拡大。  
全国の中でも高齢化が進んでいる本県においては、年間1万人を超える方が亡くなっており、当面、自然減によって人口減少が続くこと自体は避けられないものと認識。
- 一方で、令和5年の出生数は3,380人と、過去最少かつ全国最少となった令和4年3,721人から更に341人減少。  
また、今後の出生数への影響が大きい婚姻件数についても、令和5年は1,985件と、過去最少となった令和4年の2,189件から204件減少。  
この傾向が続けば、将来にわたって、高知県の活力が失われかねないと、大変強い危機感をもっている。
- 本県では、若年人口、とりわけ女性の若年人口の減少に伴って、婚姻件数や出生数が減少しており、このことがさらなる若年人口の減少を招くという負の連鎖が生じている。
- こうした状況から脱却し、若年人口の増加による持続可能な人口構造への転換を図るため、人口減少対策のマスタープランとなる「高知県元気な未来創造戦略」を本年3月に策定。  
「魅力ある仕事をつくり、若者の定着につなげる」、「結婚の希望をかなえる」、「こどもを生子、育てたい希望をかなえる」の3つの観点から施策を抜本強化したところであり、この戦略に掲げる取り組みを全力で進めていく。
- 今後、今回の結果も踏まえ、若年層へのヒアリングやアンケート調査、データ分析などによりさらなる要因分析を行い、外部の有識者等のご意見も伺いながら、取り組みの強化を図っていく。